

1 令和3年度学校評価の基本方針

- (1) 本校の学校評価（自己評価）は、文部科学省「学校評価ガイドライン」（平成22年7月20日）に則して実施し、以下に沿って自己評価報告書の作成と公表を行う。
- ① 令和3年12月に、本校生徒・保護者・教職員（管理職を除く）に対して学校評価アンケートを実施し、それをふまえて令和4年3月に、本校管理職による「学校評価（自己評価）報告書」を作成し、本校生徒・保護者に対して本校ホームページ上で公表する。
- ② 「学校評価（自己評価）報告書」について、以下の学校関係者から意見等を聴取する。
- ・令和4年4月 第1回PTA運営委員会において本校PTA役員より
 - ・令和4年5月 第1回学校評議員会において本校学校評議員より
- なお、教育学部附属四校園の学校評議員会は、令和4年10月に「令和元年度千葉大学教育学部附属学校園学校評議員会学校評価報告書」を作成し、公表する予定である。
- (2) 本校の学校評価（自己評価）は、中等教育を行う学校としての一般的な評価項目についてとともに、国立大学教員養成系学部附属学校としての社会的使命及び本校の学校教育目標に照らした評価項目を盛り込んだ学校評価として行う。
- (3) 本校の学校評価（自己評価）は、「学校評価ガイドライン」の趣旨の通り、自らの教育活動その他の学校運営について、組織的・継続的な改善を図り、その説明責任を果たすことが第一の目的である。そのことによって、保護者等から理解と参画を得て、連携協力による学校づくりを進めることを意図している。さらに、学校設置者である国立大学法人千葉大学によって、その結果に応じた支援や条件整備等の改善措置が講じられ、教育水準の保証・向上が図られることを目的として行う。

2 本校学校評価（自己評価）の実施概要

(1) 学校評価アンケートの実施

- ① 学校評価アンケートは、本校生徒・保護者・教職員を対象として、学習指導・生徒指導・学校運営（教育環境の整備・教育方針の具現化・附属学校としての責務の遂行等）に関する項目について、評価基準は 5…そう思う 4…ややそう思う 3…どちらとも言えない 2…あまりそう思わない 1…そう思わない の5段階での評価を依頼した。令和2年度までは紙でアンケートを実施していたが、今回よりインターネットを利用して電磁的方法で実施した。
- ② 学校評価アンケートの回収率は以下の通りであった（括弧内は前年度）。電磁的方法を使用したことにより、特に保護者の回答率が大幅に上昇した。
- | | | | | | |
|------|---------------|-------|---------------|-------|-----------------|
| ・生徒… | 97.4% (95.8%) | ・保護者… | 91.2% (70.6%) | ・教職員… | 100.0% (100.0%) |
|------|---------------|-------|---------------|-------|-----------------|

(2) 学校評価（自己評価）報告書（本書）の作成

- ① 本報告書は本校副校長及び校務室教員が対象者ごとにまとめた原案をもとに、校長の責任において総括した。その際に、学校評価アンケートに反映されていない要素をも含めた、包括的な自己評価となるようにした。
- ② 本年度の学校評価アンケートについては平成30年度一部修正を行っている。
- ③ △はマイナスを示す。

3 学校評価アンケートの結果の概要

(1) 生徒アンケート

評価基準は5・・・そう思う 4・・・ややそう思う 3・・・どちらとも言えない 2・・・あまりそう思わない 1・・・そう思わない の5段階です。											
	番号	評価項目	学年	5	4	3	2	1	平均	R2年度 平均	増減
学習指導	1	先生はわかりやすく工夫した、充実した授業をしていると思いますか。	1年生	97	38	10	4	1	4.51	4.64	△ 0.13
			2年生	89	43	10	1	1	4.51	4.56	△ 0.05
			3年生	88	37	16	2	4	4.38	4.36	0.02
			全学年	274	118	36	7	6	4.47	4.52	△ 0.05
	2	あなたは、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていますか。	1年生	57	51	31	6	5	3.99	3.49	0.50
			2年生	31	49	36	23	5	3.54	3.72	△ 0.18
			3年生	78	37	17	11	4	4.18	3.94	0.24
			全学年	166	137	84	40	14	3.91	3.72	0.19
	3	あなたは、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したりできていると思いますか。	1年生	44	59	27	16	4	3.82	3.62	0.20
			2年生	25	45	52	17	5	3.47	3.84	△ 0.37
			3年生	55	50	27	9	6	3.95	3.71	0.23
			全学年	124	154	106	42	15	3.75	3.73	0.02
生徒指導	4	先生は一人一人の性格や考え方を大切にし、良さを伸ばす指導をしていると思いますか。	1年生	76	54	12	6	2	4.31	4.37	△ 0.06
			2年生	55	65	16	6	2	4.15	4.36	△ 0.22
			3年生	82	38	16	6	5	4.27	4.25	0.02
			全学年	213	157	44	18	9	4.24	4.33	△ 0.09
	5	先生は困った時に親身になって対応していると思いますか。	1年生	84	41	17	5	3	4.32	4.48	△ 0.16
			2年生	74	41	21	6	2	4.24	4.43	△ 0.19
			3年生	92	30	15	4	6	4.35	4.33	0.01
			全学年	250	112	53	15	11	4.30	4.42	△ 0.11
	6	あなたは、ルールやマナーを守り、学年にふさわしい規律や規範意識をもつことができていますか。	1年生	78	57	10	4	1	4.38	4.41	△ 0.03
			2年生	53	60	26	3	2	4.10	4.43	△ 0.33
			3年生	96	29	14	4	4	4.42	4.51	△ 0.09
			全学年	227	146	50	11	7	4.30	4.45	△ 0.15
学校運営	7	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。	1年生	75	47	21	5	2	4.25	4.25	0.00
			2年生	54	43	32	13	2	3.93	4.22	△ 0.29
			3年生	67	48	23	7	2	4.16	4.03	0.14
			全学年	196	138	76	25	6	4.12	4.17	△ 0.05
	8	学校は自分が将来、社会に出た時に役に立つ力をつけてくれていると思いますか。	1年生	95	40	11	3	1	4.50	4.60	△ 0.10
			2年生	83	42	14	3	2	4.40	4.49	△ 0.09
			3年生	101	29	8	6	3	4.49	4.33	0.16
			全学年	279	111	33	12	6	4.46	4.47	△ 0.01
	9	学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習など特色のある活動になじんでいると思いますか。	1年生	98	42	7	2	1	4.56	4.48	0.08
			2年生	71	51	17	2	3	4.28	4.52	△ 0.24
			3年生	99	32	10	3	3	4.50	4.34	0.17
			全学年	268	125	34	7	7	4.45	4.44	0.01
	10	本校に入学して良かったと思いますか。	1年生	106	29	9	2	4	4.54	4.75	△ 0.21
			2年生	93	31	15	4	1	4.47	4.63	△ 0.16
			3年生	103	26	9	6	3	4.50	4.33	0.17
			全学年	302	86	33	12	8	4.50	4.57	△ 0.07

① 学習指導

学習指導に関しては、項目1「先生はわかりやすく工夫した充実した授業をしていると思いますか。」に関しては平均値が4.47となっている。昨年度よりも0.05ポイント低下しているが、これまで3年連続増加していた点からすれば、例年通りとも捉えられる。そのため、授業に関していえば、ほとんどの生徒が好意的に捉えていることが確認できた。しかし、1年生のみ昨年度より0.13ポイント低下している。生徒の実態に応じた授業づくりをより進めていく必要があると考えられる。

項目2「あなたは、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていますか。」、項目3「あなたは、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したりできていると思いますか。」の項目に関して全体では、昨年度よりそれぞれ、0.19、0.02ポイントとわずかであるが向上している。一方で、二

年生ではそれぞれ0.18, 0.37ポイント低下している。この点からも、生徒の実態に応じた授業づくりをより進める必要があると考えられる。また現状でも、定期テスト時に各教科の課題提出が偏らないように配慮をしているが、このような配慮を継続することも必要と考えられる。

② 生徒指導

生徒指導に関しては、全ての項目の平均値が4を上回っている。この点から概ね高評価であると考えられる。しかしながら前年比で見ると、多くの学年・項目で低下している。特に、項目6「あなたは、ルールやマナーを守り、学年にふさわしい規律や規範意識をもつことができますか。」の低下が顕著である。これは、今年度から導入されたChromebookの利用方法について、厳格なルールを定めるのではなく、生徒自身が考えて望ましい使用方法を模索している段階であることが影響しているのではないかと考えられる。また、教師側も、目の前の生徒が明らかに誤った使用をしていれば「良さを伸ばす指導」ではなく、注意を促す指導を行うことも増えてしまうのが現状である。本校のデジタルシティズンシップ教育の方針を推進するためにも、より生徒のChromebookに対する意識を向上させるような「望ましい事例」「良さを伸ばす指導」を取り上げて指導することが必要になると考えられる。

また、項目5「先生は困ったときに親身になって対応していると思いますか。」についても低下が見られるが、職員全体で継続している生徒指導や教育相談の機能をいかした取り組みを再度意識しながら取り組んでいく必要があるといえる。

③ 学校運営

学校運営に関しては、項目7「学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。」では、他の項目と比較すると低い傾向にある。自由記述の欄には、男子更衣室の整備や机・イスが老朽化しているという記述があった。一方今年度は、各クラスのロッカーを新調したり、生徒棟のトイレ改修が進んだりしたことなど、改善している点も多くある。今後も少しずつではあるが、計画的に施設、設備の改修等を行っていく必要がある。

項目9「学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習などの特色ある活動になじんでいると思いますか。」については、昨年度とほぼ同じである。しかしながら1, 3年生は向上しているが、2年生が昨年度よりも厳しい評価である。これはコロナ禍における学校行事の中止や縮小開催が影響していると考えられる。2年生は入学して以来、本来の学校行事の多くを体験できていないため「なじむ」と感じづらい面が強いのではないかとと思われる。一方、今年度は3年生の評価は回復傾向にある。規模を縮小しながらも、学校の中心的存在として企画・運営したことが影響しているものと考えられる。この分析は、項目8「学校は自分が将来、社会に出た時に役に立つ力をつけてくれていると思いますか。」や項目10「本校に入学して良かったと思いますか。」に対しても同様と考えられる。

また、項目10では、昨年度と比べて0.07ポイント低下しているものの、依然として平均値が4.50ポイントと高評価である。本校の学校の特性を生徒が理解するだけではなく、教職員の日々の取り組みや授業研究の成果が現れたデータであり、学校運営に関してはおおむね高評価であるといえる。今後は、コロナ禍での学校行事の在り方などをさらに検討し、生徒が充実感を感じられるよう、改善していかなければならない。

④ その他（前年度との比較から）

今年度はコロナ禍が続いていること等から、2年生の評価が厳しい状況であった。3年生は、学校行事等で達成感を味わうことができてきたが、2年生は校外学習の延期などもあり、その機会が失われてしまった。一方で、そのような中でも学習指導以外の項目の平均値が4.0を上回っている状況はおおむね良好であると捉えている。

(2) 保護者アンケート

評価基準は5・・・そう思う 4・・・ややそう思う 3・・・どちらとも言えない 2・・・あまりそう思わない 1・・・そう思わない の5段階です。											
	番号	評価項目	学年	5	4	3	2	1	平均	R2年度 平均	増減
学習指導	1	学校の授業は、わかりやすく工夫をした、充実したものだと思いませんか。	1年生	54	47	34	3	1	4.08	4.02	0.06
			2年生	53	47	36	5	0	4.05	3.92	0.13
			3年生	57	51	20	0	0	4.29	4.24	0.05
			全学年	164	145	90	8	1	4.14	4.06	0.08
	2	お子様は、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていますか。	1年生	32	43	32	16	19	3.37	3.33	0.04
			2年生	23	51	37	20	12	3.37	3.46	△ 0.09
			3年生	53	33	26	12	4	3.93	3.98	△ 0.05
			全学年	108	127	95	48	35	3.56	3.59	△ 0.03
	3	お子様は、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したりできていると思いませんか。	1年生	29	49	38	16	9	3.52	3.74	△ 0.22
			2年生	31	59	38	15	0	3.74	3.63	0.11
			3年生	41	49	24	12	2	3.90	3.87	0.03
			全学年	101	157	100	43	11	3.72	3.75	△ 0.03
生徒指導	4	教員は生徒一人一人の性格や考え方を大切に、良さを伸ばす指導をしていると思いませんか。	1年生	52	46	35	6	0	4.04	4.02	0.02
			2年生	52	53	35	3	0	4.08	4.00	0.08
			3年生	59	43	25	1	0	4.25	4.18	0.07
			全学年	163	142	95	10	0	4.12	4.07	0.05
	5	教員は生徒が困った時に親身になって対応していると思いませんか。	1年生	59	45	30	5	0	4.14	4.25	△ 0.11
			2年生	59	51	27	6	0	4.14	4.06	0.08
			3年生	62	39	23	2	0	4.28	4.34	△ 0.06
			全学年	180	135	80	13	0	4.18	4.22	△ 0.04
	6	お子様は、ルールやマナーを守り、学年にふさわしい規律や規範意識をもつことができているか。	1年生	63	49	23	7	0	4.18	4.34	△ 0.16
			2年生	68	55	20	0	0	4.34	4.22	0.12
			3年生	69	38	17	3	1	4.34	4.42	△ 0.08
			全学年	200	142	60	10	1	4.28	4.33	△ 0.05
学校運営	7	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いませんか。	1年生	67	47	19	5	1	4.25	4.29	△ 0.04
			2年生	64	60	16	3	0	4.29	4.18	0.11
			3年生	61	41	25	0	0	4.28	4.35	△ 0.07
			全学年	192	148	60	8	1	4.28	4.27	0.01
	8	学校はお子様に、将来社会に出た時に役に立つ力をつけていると思いませんか。	1年生	66	43	26	3	2	4.20	4.21	△ 0.01
			2年生	62	66	12	2	0	4.32	4.16	0.16
			3年生	65	46	13	2	1	4.35	4.40	△ 0.05
			全学年	193	155	51	7	3	4.29	4.25	0.04
	9	お子様は、学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習など特色ある活動になじんでいると思いませんか。	1年生	69	44	25	4	0	4.25	4.39	△ 0.14
			2年生	75	54	12	1	1	4.41	4.31	0.10
			3年生	75	40	12	0	1	4.47	4.46	0.01
			全学年	219	138	49	5	2	4.38	4.39	△ 0.01
	10	附属中学校に入学させて良かったと思いませんか。	1年生	90	31	17	3	1	4.45	4.49	△ 0.04
			2年生	91	33	16	2	1	4.48	4.42	0.06
			3年生	93	23	11	1	0	4.63	4.52	0.11
			全学年	274	87	44	6	2	4.52	4.48	0.04
	11	学校は情報公開や家庭との連絡・連携に努めていると思いませんか。	1年生	81	40	15	4	2	4.37	4.05	0.32
			2年生	54	59	25	4	1	4.13	4.05	0.08
			3年生	69	37	17	5	0	4.33	4.45	△ 0.12
			全学年	204	136	57	13	3	4.27	4.18	0.09
	12	学校は国立大学附属学校としての社会的使命を充分に果たしていると思いませんか。	1年生	70	45	23	2	1	4.28	4.20	0.08
			2年生	57	59	25	1	1	4.19	4.20	△ 0.01
			3年生	72	37	18	1	0	4.41	4.46	△ 0.05
			全学年	199	141	66	4	2	4.29	4.29	0.00

① 学習指導

項目1「学校の授業は、わかりやすく工夫をした、充実したものだと思いませんか」は、学習指導3項目中最も高い評価であり、昨年度と比較すると0.08ポイント増加している。さらに3年前から4.10→4.09→4.06→4.14と推移しており、この4年間で最も高い結果となった。特に今年度は、近年続いたコ

コロナ禍による臨時休校措置がなく、落ち着いて従来の対面授業に取り組めたことで高評価が得られたと考えられる。一方で、今年度の3年生4.29は、昨年度2年生時の3.92から0.37ポイント増加し、また今年度の2年生4.05は、昨年度1年生時の4.02から0.03ポイント増加している。このような経年分析をしたときに、3年生が増加しているのに対し、2年生が減少傾向にある項目が、昨年度の調査では全12項目中約半数の5項目で見られたが、今年度は3項目に留まった。また、2年生が1・3年生よりも低く評価している項目が昨年度全12項目中9項目に及んだが、今年度は3項目に留まった。近年、2年生では、いわゆる「中だるみ」を案じた保護者が1年生時よりも低く評価する傾向が続いたが、今年度その傾向は和らいだといえる。

項目2「お子様は、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていると思いますか」が今回の12項目中最も低い評価3.56で、昨年度の3.59から0.03ポイントの微減となった。そんな中でも今年度の3年生3.93は、昨年度2年生時の3.46から0.47ポイント増加し改善が見られる。さらに評価1や2をつけた保護者が25%程度いるのは1・2年生のみに留まり（3年生は12.5%）、その2年生でも昨年度の1年生時よりも0.04ポイント微増している。これらのことから、家庭学習については、特に1・2年生を中心に必要に応じて助言や指導をしていく必要がある。

項目3「お子様は、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したりできていると思いますか」では、今年度の1年生3.52は、昨年度の1年生3.74より、0.22ポイント低く過去3年間で最低となっている。これはコロナ禍により通常の授業参観を開催できていないことによる不安が一因となっている可能性がある。一方、学校全体としては昨年度の3.75から0.03ポイント微減し、3.72になった。学年毎に経年変化を見てみると、今年度の3年生3.90は、昨年度2年生時の3.63から0.27ポイント増加し、今年度の2年生3.74は、昨年度1年生時から変化していない。このことより、一昨年度から再スタートした探究の時間「附中探Q記」で、「積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したり」する活動が着実に実を結びつつあるといえる。今後も継続して、普段の授業から発表の機会を多くすることで、より良い課題解決を探っていく授業を教員は意識していく必要がある。

② 生徒指導

項目4「教員は生徒一人一人の性格や考え方を大切に、良さを伸ばす指導をしていると思いますか」は、3年連続増加傾向を示し、経年分析でも現2・3年生ともに増加した結果となった。一方、項目5「教員は生徒が困った時に親身になって対応していると思いますか」と項目6「お子様は、ルールやマナーを守り、学年にふさわしい規律や規範意識をもつことができますか」の評価は微減となった。引き続き、生徒観察（生徒理解に努めること）、教員間の連携を意識していくことに努め、生徒の良心に訴えかける日頃からの積極的な生徒指導（Chromebookの使い方を含める）を継続していきたい。

③ 学校運営

学校運営に関わる6項目中、4項目で昨年度よりも増加した。さらに、項目7「学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか」、項目8「学校はお子様に、将来社会に出た時に役に立つ力をつけていると思いますか」、項目10「附属中学校に入学させて良かったと思いますか」、項目11「学校は情報公開や家庭との連絡・連携に努めていると思いますか」の4項目は、この3年間で最も高い結果となった。一方で、昨年度と比べてほぼ横ばいの結果となった項目が、項目9「お子様は、学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習など特色ある活動になじんでいると思いますか」、項目12「学校は国立大学附属学校としての社会的使命を十分に果たしていると思いますか」だった。

コロナ禍とはいえ、運動会（昨年度は中止）や文化祭（オンライン開催）を実施できたり（いずれも保護者の来校不可）、探究発表会を保護者参観可で開催できたりした一方で、3年生と2年生で校外学習が中止となった。中学校生活の中で大きな記念となるはずの行事が予定通りに実施できない状況であっても、学校の対応やそれに至るまでの工夫や配慮のプロセスをきちんと理解していることが高評価につながったと考えられる。今後も続くコロナ禍での学校運営について、誠意をもって対応を進めていく必要がある。

最後に、現3年生について昨年度2年生時の結果と比較すると、全12項目のすべてで今回の調査が昨年度を上回った。その中で、最高値4.63をとったのは、項目10「附属中学校に入学させて良かったと思いますか」であった。この結果に満足することなく、今回の調査で明らかになった課題の解決に努めたい。

(3) 教職員アンケート

評価基準は5・・・そう思う 4・・・ややそう思う 3・・・どちらとも言えない 2・・・あまりそう思わない 1・・・そう思わない の5段階です。											
	番号	評価項目	5	4	3	2	1	平均	R2年度 平均	増減	R1年度 平均
学習指導	1	教員は熱心に工夫をして、授業をしていると思いますか。	19	10	0	0	0	4.66	4.68	△ 0.02	4.68
	2	教員は、生徒自らが計画を立て、学校外で適切に学習ができるよう指導していると思いますか。	7	12	8	1	1	3.79	3.82	△ 0.03	3.96
	3	教員は生徒が自分で課題を解決したり、意見を発表したりする授業をしていると思いますか。	13	13	3	0	0	4.34	4.54	△ 0.20	4.50
生徒指導	4	教員は生徒一人一人の性格や考え方を大切にして指導していると思いますか。	12	13	3	1	0	4.24	4.50	△ 0.26	4.25
	5	生徒や保護者が困ったときに、教員は親身になって対応していると思いますか。	20	6	0	2	1	4.45	4.61	△ 0.16	4.54
	6	教員は生徒がルールやマナーを守り、規律ある生活を送れるように指導をしていると思いますか。	8	10	7	1	3	3.66	3.86	△ 0.20	3.71
学校運営	7	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。	7	12	9	1	0	3.86	3.75	0.11	3.21
	8	学校は生徒が将来、社会に出た時に役に立つ力をつけていると思いますか。	10	10	6	1	2	3.86	4.21	△ 0.35	4.14
	9	教育課程や学校行事などの教育活動、入学者選抜や学校評価などが適切に行われていると思いますか。	10	15	3	1	0	4.17	4.43	△ 0.26	4.04
	10	安全点検や保健安全対策、防災対策、情報セキュリティ対策が着実に進められていると思いますか。	10	13	4	0	2	4.00	4.21	△ 0.21	3.82
	11	会議・打ち合わせや校務分掌、生徒指導や保護者対応などについて、校内体制が整備され、円滑に進められていると思いますか。	10	9	5	2	3	3.72	4.00	△ 0.28	3.43
	12	学校全体や各教科、個人の教育実践研究が意欲的に進められていると思いますか。	9	16	3	1	0	4.14	4.21	△ 0.07	4.32
	13	教育実習指導が適切に実施されていると思いますか。	11	12	5	1	0	4.14	4.32	△ 0.18	4.11
	14	大学・学部との連携・協力や地域との連携・貢献が積極的に行われていると思いますか。	7	12	8	2	0	3.83	3.86	△ 0.03	4.14
	15	学校は国立大学附属学校としての社会的使命を十分に果たしていると思いますか。	9	12	7	0	1	3.97	4.21	△ 0.24	4.18

平均値が3.5を下回る質問項目が0であることを考えると概ね良好なデータであると解釈できる。反

面、平均値が昨年度と比較すると低下している項目が14存在している。各項目の度数分布を確認すると「2：あまりそう思わない」、「1：そう思わない」と回答した職員が数名増えたことが平均値低下に影響していることが確認できた。詳細は以下の通りである。

① 学習指導

質問項目1については平均値が4.5ポイントを超えているので教員が熱心に授業に取り組んでいると考察することができる。質問項目3については、昨年度より0.2ポイント平均値が低下している。これは、「5：そう思う」と回答した職員が3名ほど少なくなったことが影響している。しかし、平均値は4ポイントを超えていることからさほど大きな問題ではないと解釈することができる。本校教員は、生徒が自身で課題解決ができる授業を日々模索していると考察できる。

質問項目2については平均値が4を下回っていて、昨年度より0.03ポイント低下している。しかし、「5：そう思う」と回答している教員は、昨年度より2名増えている。反面、「2：あまりそう思わない」、「1：そう思わない」と回答している教員が各1名ずつ増えている。これは、教員間で「生徒自らが計画を立て、学校外で適切に学習する」とはどのようなことなのかの共通理解が図れていないと解釈できる。教員間の対話により改善できると考えている。

昨年度との平均値の比較は、サンプル数が29であり、数値の変動が大きくなりがちである。人事異動によりサンプルが変わることも考えれば平均値での考察は適切であるとはいえない。教員個々の回答を質的に分析していく必要があるということなのかもしれない。

② 生徒指導

質問項目4、5については平均値が4を超えていることから生徒個々の実態を考慮しながら指導にあたっているだけでなく、生徒や保護者に対して親身になって対応していると解釈することができる。しかし、平均値は、昨年度より0.2ポイント程度低下している。これは、昨年度には0名であった「2：あまりそう思わなかった」、「1：そう思わなかった」と回答している教員が存在していることが影響している。異動してきたばかりの教員と本校で数年勤務している教員との教育観の違いが影響したデータであると考察できる。学習指導と同様に教員間の対話が必要であるといえる。

質問項目6は、4ポイントを下回るだけでなく、昨年度よりも0.2ポイント平均値が低下している。ルールやマナー、規律など個々人による感覚の違いが影響していると考えられる。昨年度、0名であった「1：そう思わない」と回答していた教員が3名存在している。先述した質問項目4、5と同様に本校勤務1年目の教員と数年勤務した教員の生徒指導観の差であると解釈することもできる。新型コロナウイルスの感染対策で職員間の宴席等が皆無となっていることも影響しているのではないかと。教員間の対話の場を意図的に設定する必要であるということなのかもしれない。

③ 学校運営

質問項目7については、トイレ改修やChromebookの全員配布、無線LAN設備の改修などが計画的に行われていることもあり、昨年度よりも平均値が0.11ポイント向上するだけでなく「2：あまりそう思わない」、「1：そう思わない」と回答する教員が4名減少した。

平均値が4を下回っている質問項目は、8、11、14、15であった。平均値が昨年度と比較すると0.3ポイント程度低下しているのは、質問項目8と11である。「学校は生徒が将来、社会に出た時に役に立つ力をつけていると思いますか」の質問は、教師の教育観が回答に影響する部分でもあるので、サンプル数が29であること、サンプル教員が昨年度と違うことを考慮すればさほど大きなものではないと考えられる。「会議・打ち合わせや校務分掌、生徒指導や保護者対応などについて、校内体制が整備され、円滑に進められていると思いますか」の質問は、昨年度0名であった「1：そう思わない」と回答した教員が3名増えていることが平均値の低下に影響している。Ⅰ学習指導、Ⅱ生徒指導と同様で本校勤務が浅い教員と数年経過している教員の温度差であると解釈できる。教員間のコミュニケーションを活発にする必要があるということなのであろう。

新型コロナウイルス感染症による影響は、教員間のコミュニケーションにも影響している。生徒の心情に寄り添った指導はもちろん、教員個々の心情に寄り添った学校経営が求められているということなのかもしれない。

4 学校評価（自己評価）の総括

令和3年度は、令和2年度に続いて新型コロナウイルス感染症の影響を受け、宿泊を伴う校外学習がすべて中心となったことをはじめ、運動会や文化祭の保護者への公開を中止するなど、教育活動にさまざまな制約が生じた。また、PTA活動が大幅に制限され、通常の授業参観も実施できない状況であった。こうした中で、多くの教科・領域でオンラインでの公開研究会を実施したり、教育実習を予定通り実施したり、総合的な学習の時間の成果発表の場である探究発表会を保護者に見ていただく形で実施したりというように、感染防止に配慮しつつさまざまな取り組みを行うことができた。

新型コロナウイルス感染症への対応としては、前年度から継続する基本的な感染防止策に加え、千葉大学の職域接種によるワクチン接種を教員だけでなく生徒や生徒の同居家族を対象に実施することができた。また、教室に二酸化炭素モニターを配備して換気の必要性に応じて換気を行うことを徹底した。保護者や大学側の協力もあり、状況が刻々と変わる中でも、機動的に感染防止策を講じ、教育活動の制限を限定的なものとすることができた。

また、GIGAスクール構想によって今年度より一人一台の情報端末を使用できる環境が実現し、本校においては令和3年8月より各生徒がChromebookを使用できるようにした。各教科、総合的な学習の時間、学級活動、生徒会活動等において、生徒たちがChromebookを有効に活用している状況が見られる。また、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者となった等で一定期間登校できない生徒が、Chromebookを活用して自宅から授業に参加することも行われるようになっている。

このように状況の変化が大きい中であって、アンケート結果においてはここ数年の高い評価が概ね維持されている。この令和3年度においても、教職員や生徒の尽力はもちろん、保護者や大学関係者等の協力に支えられ、本校が求められる使命を一定程度果たすことができたものと考えられる。他方、今後に向けて、いくつかの課題も見られる。

（1）学習指導

各教員が工夫をしてわかりやすく充実した授業を行うこと、生徒が自ら課題を解決したり意見を発表したりする授業を行うこと等がしっかりとできていることが、アンケート結果からうかがわれる。他方、生徒自らが計画を立て、学校外で適切に学習できるように指導できているかという点においては、今回も課題が残った。また、生徒の自認としては、積極的に意見を発表したり自分で課題を解決したりできているという点に関して否定的な回答がある程度の割合を占めている。

学校外での学習に関しては、高校受験を控えた3年生で否定的な回答が少ない状況は、前年度と同様である。中学校に入って学習環境が大きく変わることを踏まえれば、計画的に学習できるようになるまでに時間を要する生徒が一定程度いることは当然のことなのかもしれない。しかしながら、今後は個に応じた対応についてさらに検討することが必要であろう。

また、意見発表や自らの課題解決については、探究の時間（附中探Q記）や選択教科（2・3年生で実施）の安定的な実施を通して、少人数の環境の中で生徒の探究的な学習をきめ細かく指導することによって改善することが可能だと考えられる。

（2）生徒指導

本校においては、生徒指導や教育相談等の課題に関して、組織的で迅速な対応がとれるよう、従前より体制を整備してきた。大学の教員の協力を得つつ、主幹教諭が生徒指導主事として各学年・学級の状況を日常的に集約して管理職等と共有し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談員、養護教諭、各主任や学級担任等が円滑に連携し、生徒の抱える課題への対応を進めている。教員が、生徒一人一人の特性を尊重しつつ親身になって対応している状況が、アンケート結果からも確認できる。

本校では細かい校則を定めず、「質素で品位ある服装」というように大まかな生活上の考え方を共有し、生徒や保護者の話を丁寧に傾聴しつつどのようなあり方が妥当なのかを生徒に考えさせる生徒指導を進めてきた。一人一台端末の導入に際しても、端末利用のルールを細かく定めるのではなく、ICT推進生徒委員会の提案を受けて「未来へつながる、品位と思いやりあるICT活用」を合言葉に、端末利用を進めている。授業中の端末の不適切利用や家庭での端末の長時間利用といった問題は見られるが、デジタルシティズンシップ涵養の観点を持ち、そうした問題に対しても教員から一方的に厳しく指導

するより生徒に望ましいあり方を考えさせる指導を行っている。この結果、ルールやマナーを守れていない生徒がいることは生徒自身も教員も認識しているものの、生徒指導の基本的なあり方については、生徒、保護者、教員から概ね支持されていると考えられる。

（３）学校運営

学校運営においては、新型コロナウイルス感染症による影響は強かったものの、頻繁に予定の変更を余儀なくされた前年度ほどの混乱はなかった。教員の「働き方改革」はある程度定着し、職員会議の資料を電子化する等のさらなる効率化も進み、さまざまな課題がある中でも教員が勤務時間を意識して会議等の業務を終えることができるようになってきている。また、このところ課題となっていた施設・設備の問題に関しても、令和３年度にはトイレの改修や無線LAN設備の増強が行われ、さらにはエレベーター設置に向けた動きが進む等、目に見えた改善が進んでいる。他方で、宿泊を伴う校外学習が実施できず、保護者に生徒の活動を見ていただく機会は非常に少なくなってしまう、多くの参会者を招いての公開研究会を実施できない状態も継続している等、学校運営に関わる制約は大きい。

新型コロナウイルス禍における制約はあるものの、生徒や保護者の学校運営に対する評価は総じて高く、基本的に支持されていることがうかがわれる。

他方、生徒や保護者と比較すると教員の学校運営に対する評価はやや低く、ほとんどの項目で前年度より低下している。以前からの計画では、本来令和２年度から４年度くらいにかけて、大学との連携を強化するとともに、グローバル化への対応、新たなICT活用方策の検討、AIやデータサイエンスといった技術の活用等について検討し、実験的な取り組みを進めることとしていた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症対応の中で新たな取り組みよりは目の前の教育活動や教育実習指導に力を入れざるをえなかった上に、ICTに関してはGIGAスクール構想の前倒しという予想外の事態に対応することとなり、さらには教員が遠方の学校を訪れて研修することがほとんどできておらず、教員が独自の教育研究活動を進めることが犠牲になってしまっている。

こうした状況下ではあるが、グローバル化に対応した学習の検討、きめ細かい教育活動を可能にするための学級規模の見直し、教育学部と連携した大型研究プロジェクトの検討等、将来に向けた準備を進めることはできている。令和４年度以降、少しずつ新しい取り組みを実現しながら、学校の課題を見直していくことが重要となる。

国立大学教員養成課程に求められている地域連携・社会貢献については次の表の通りである。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限されたため、全体の件数は例年よりも3割ほど少なくなってしまった。昨年度よりも教育学部との連携研究の数が2倍近く増えるなど、コロナ禍にあって、それぞれの教員は多岐に亘る活動を行い、その使命を果たした。

活動の内容		計
①学生スクールサポーターの活用	学習指導	5
	学校行事	0
	生徒会活動	1
	部活動	5
②研修指導講師 各種役員 等	教員対象研修講師	12
	児童・生徒対象研修講師	2
	学校公開・広報活動	0
	公開研究会	0
	教育行政(国・県・市)や団体の委員、研究協力	3
	教育行政や団体の運営実務(役員)	10
	教育関係講演会講師・シンポジスト等	1
	研修派遣の受入(他国・他校から)	0
	部活動・体育関係団体の運営実務(役員)	11
	その他	6
③外部資金の獲得・受賞	外部資金(科学研究費等)の獲得	0
	受賞	0
④研究発表	論文(学会等)	12
	口頭発表	4
	執筆(本・雑誌等)	7
教育学部連携研究への参加		25